

第1条【会員制度】

1. 当クラブは会員制とします。
2. 当クラブに入会しようとするときは、本規約を承諾し、所定の入会申込書・契約書（Web上の申込み等電波的媒体・記録による場合を含み、以下「入会申込書等」といいます。）を提出し、利用契約等の諸契約を締結することにより当クラブへの入会が認められ、当クラブの諸施設を利用することができます。
3. 未成年者が入会を希望する場合は、所定の入会同意書に本人とその親権者が連署の上、入会手続きを行うものとします。
4. 会員は、本規約、施設内の諸規則、全て遵守しなければなりません。

第2条【入会資格】

次の各号のいずれかに該当するものはクラブの会員になることはできません。

- (1) 本規約および利用する施設の諸規則を遵守できない者
- (2) 入会申込書等に記載された本人と同一人物であることを確認できない者
- (3) タトゥー（タトゥーとの判別が困難なペインティング等を含みます。）のある者で、各施設内（施設館内のみならず、駐車場、駐輪場、その他の敷地を含みます。以下同様。）においてタトゥーの露出を一切行わないことに同意できない者
- (4) 過去または現在において暴力団または反社会的勢力に属し、又はそれらに属する者と関係を有する者と判断した者
- (5) 医師等により運動を禁じられている者
- (6) 伝染病、その他、他人に伝染または感染する恐れのある疾病を有している者
- (7) 18歳未満の者
- (8) 所属する学校または団体においてフィットネスクラブへの入会が禁じられている者
- (9) 未成年で施設入会に関して親権者の同意を得られない者
- (10) 入会申込書等に含まれる「確認事項」「同意事項」等に同意できない者
- (11) その他、当施設が会員としてふさわしくないと判断した者

第3条

1. クラブの会費、セキュリティキーの発行手数料、その他の費用（以下「会費等」といいます。）は、当クラブが定めるものとします。
2. 会員は、会費等を所定の方法で支払うものとします。入会日に当月分・翌月分の会費を徴収いたします。3ヶ月目からの会費は入会2ヶ月目の20日に決済いたします（翌月分の会費を当月の20日に決済いたします）。
3. 会員は、実際のクラブ利用の有無に関わらず、本規約が定める会費等を全て支払う義務があります。一旦支払った会費等は、本規約の定めがある場合を除いて返還しません。
4. 当クラブは、会費等の改定を行うことができます。その場合、改定料金の初回引落日2週間前までに会員に告知するものとし、以後は改定後の会費等が適用されるものとします。
5. 会員が会費等その他の債務を、支払期日を過ぎても履行しない場合、当クラブは、会員に対し、未払いの会費等について再度の口座振替もしくはクレジットカードによる決済を行う際または会員がクレジットカードによる決済を行う際(以下「口座振替等」という)、口座振替等の都度、クラブ所定の金額を口座再振替等手数料として、会費等その他の債務と一括して、指定する方法で支払いを求めることができます。その際の必要な振込手数料等その他の費用は、当該会員の負担とします。

6. 月会費2ヶ月無料キャンペーンを適応され1年未満で退会された場合、退会時に2ヶ月分の月会費を徴収いたします。

第4条【セキュリティキー】

1. クラブは、会員に対しスマホWeb上にセキュリティキー（以下、QRコード）を交付します。
2. 会員がクラブに立ち入る際には、当該会員が交付されたQRコードを提示するものとし、会員本人がQRコードを携帯していない場合はクラブに立ち入ることができません。
3. QRコードは、交付された会員本人もしくはクラブが認める利用権限を有する者のみが使用し、他の者が使用することはできません。
4. 会員は、QRコードを第三者に賞与することはできません。万が一、QRコードを賞与した場合は規約退会の対象となります。

第5条【会員以外のクラブ利用】

1. 次の条件をいずれも満たす場合にのみ、ビジターにクラブを利用させることができます。
 - (1) ビジターについて利用料を定めているときは、これを支払うこと。
 - (2) 事前に利用するクラブから書面による承諾を得ること。
 - (3) クラブの利用を、同伴した会員に認められた範囲およびクラブが必要に応じて制限した範囲に限ること
2. 会員は、ビジターを同伴するときは、ビジターに対し本規約に定める遵守事項を遵守させるものとします。

第6条【遵守事項】

会員は、本規約に別途定める他、以下を遵守しなければなりません。

- (1) クラブの利用にあたっては記載されたルール、慣習上のルール、クラブの説明並びに指示に従わなければなりません。
- (2) クラブの利用時は、常にクラブが定める以下の禁止事項を含むドレスコードを遵守します。
 - ①施設または器具を傷つける可能性のある衣服、履物、服飾品又は装飾品
ジーンズ、又はジーンズタイプのステッチあるいはリベット（びょう）がついている衣服、履物または服飾品等
 - ②伸縮性に欠ける、滑りやすい、器具等に巻き込まれる可能性があるなど、トレーニングにふさわしくない衣服、履物、服飾品または装飾品、サンダル、草履、長靴等
 - ③会員および他の会員を傷つける可能性のある衣服、履物、服飾品または装飾品
 - ④上半身あるいは下半身裸、裸足、下着のみ、又はそれに準ずる格好
 - ⑤ヒールが高い、又は滑りやすいなど、トレーニングにふさわしくない履物
 - ⑥その他、クラブがふさわしくないと判断した服装、履物、服飾品または装飾品
- (3) クラブ内において、以下の行為は禁止されます。
 - ①施設内における物品販売や営業行為、金銭の貸借、勧誘行為、政治活動、無許可のアンケート協力等の依頼行為、署名活動
 - ②刃物などの危険物や他者または施設、器具を傷つける可能性のある物品の施設内への持ち込み
 - ③正当な理由なく他者の所持品に触れること

- ④他の会員またはビジターに対し、パーソナルトレーニングを行うこと、
またはそのように評価される活動を行うこと
- ⑤本規約に基づきクラブの利用を認められていない者を同伴させること
- ⑥タトゥー（タトゥーとの判別が困難なペインティング等を含む）を露出させること
- ⑦物を投げる、壊す、叩く等、他の会員やスタッフが恐怖を感じる危険な行為
- ⑧大声、奇声を発する行為、他の会員もしくはスタッフがに対する暴力行為、行く手を塞ぐ
等の威嚇行為または迷惑行為
- ⑨他の会員、ビジター、スタッフに対し、待ち伏せし、後をつけ、またはみだりに話しか
ける等の行為
- ⑩正当な理由なく、面談、電話、その他の方法でスタッフを拘束するなどの迷惑行為
- ◎酒気を帯びての入館
- ◎動物を館内に持ち込むこと。ただし、あらかじめ利用するクラブが承諾した補助犬は除
く。
- ◎他の会員の諸施設利用を妨げる行為
- ◎クラブの秩序を見出し、またはその名誉、信用あるいは品位を傷つけること。

第7条【入館の禁止、退場】

1. クラブは以下の各号のいずれかに該当する者につき、相当期間の入館の禁止または退場を命じ
ることができます。
 - (1) 本規約（第6条を含み、これに限られない）および各クラブの諸規則を遵守しない者
 - (2) 第2条に定める入会資格を欠いていると判断した者、または入会に際し虚偽の申告を
し、あるいは入会資格に関わる重要な事実を故意に申告しなかった者
 - (3) 体調不良、薬物使用等により正常な施設利用ができないと判断した者
 - (4) 著しく不潔な身体または服装により、他の会員等の第三社が不快に感じると判断した者
 - (5) クラブに承諾なくQRコードを持たずに入館した者
 - (6) 本規約の手続きに従わず会員以外の者を入館させた者および入館した会員以外の者
 - (7) 自己都合により会費等の全部もしくは一部を2ヶ月間滞納し、会費等の全部もしくは一
部を支払わない月が2ヶ月連続した者
 - (8) 上記の他に、当クラブにおいて入館の禁止または退場を命じることが適切であると判断
した者
2. クラブへの入館禁止中の会員は、禁止中も会費等を支払わなければならないものとします。

第8条【休会および復帰】

1. 会員は、自らまたは法律上の権限を確認できる代理人をして、所属クラブに来店し、所定の休
会届けの記入による手続きを行なった上で、月単位でクラブを休会することができます。電
話、電子メール、ファックス等による申し出は受け付けられません。
2. 休会手続きは、休会開始を希望する月の前月19日までに行うものとし、その場合、休会開始
希望月の1日より休会扱いとします。各月の20日以降に休会手続きがとられた場合は、翌々月
の1日より休会扱いとなります。
3. 休会する会員は、別に定める休会費（月額1,100円）を支払うものとします。
4. 本条の休会手続きが完了しない場合は、休会扱いとなりませんので、クラブのご利用がなく
ても通常の会費等が発生します。

5. 休会していた会員は、休会届記載の終了経過後、自動的に月単位でクラブに復帰扱いとなります。その場合、復帰月から通常の会費等を支払うものとします。

第9条【退会】

1. 会員が自己都合によりクラブを退会する場合は、自らまたは法律上の権限を確認できる代理人をして、所属クラブに来店し、所定の退会届の記入による手続きを行なった上で、月末をもって退会することができます。
電話、電子メール、ファックス等による手続きを行なった上で、月末をもって退会することができます。
2. 退会手続は、退会を希望する月の前月19日までに行うものとし、その場合、当該月の末日をもって退会となります。各月の20日以降に退会手続がとられた場合は、翌月の末日をもって退会扱いとなります。
3. 本条の退会手続が完了しない場合は在籍となりますので、クラブのご利用がなくても通常の会費等が発生します。
4. 会費等の全部または一部が未納の場合は、第1項の退会届の提出までに完納しなければなりません。
5. 会費等は、退会が月の途中であっても、当該月分を全額支払わなければなりません。
6. 会員が自己都合により会費等の全部もしくは一部の滞納が2か月間となった場合、または会費等の全部もしくは一部を支払わない月が2か月連続した場合は、規約退会とします。また滞納分については、全額現金またはクラブが指定した方法で支払わなくてはなりません。
7. 退会に伴い、クラブは長期契約（1年一括前納等）に基づき既納された会費等がある場合は、これを正規料金で換算した上、月単位で経過月分を差し引いて返還するものとします。

第10条【届出等】

1. 会員は、入会申込書等に記載した内容に変更があったときは、速やかに所属クラブにおいて、所定の手続をもって変更の届け出をしなければなりません。
2. クラブから会員への諸通知等は、会員から届け出のあった最新の住所またはメールアドレス等あてに行い、その発想をもって効力を有するものとし、未達または延着等となっても、発信後の責を負いません。

第11条【規約退会】

1. クラブは会員が次の各号のいずれかに該当するときは、当該会員をクラブから強制的に退会させることができます。
 - (1) 本規約（第6条を含み、これに限られない）および各クラブの諸規則を遵守しないとき。
 - (2) クラブ内外にかかわらず、法令、条例または公序良俗に反する行為を行い、クラブの運営に影響が生じると判断されるとき。
 - (3) クラブにおいて、第2条に定める入会資格に関わる重要な事実を故意に申告しなかったとき。
 - (4) 第9条の6項に該当したとき。
 - (5) その他、クラブにおいて、会員としてふさわしくない言動があったと認めるとき。
2. クラブから強制的に退会させられた会員は、退会時からクラブを使用することができません。

3. クラブから強制的に退会させられた会員に対しては、クラブは前納分または既払分の会費等があっても、これを返還することはいたしません。
4. 規約退会処分を受けた会員は、将来に渡り期限を定めなく、クラブへの入会はできません。

第12条【資格喪失】

会員は、次の場合に、自動的にその会員資格を喪失します。

- (1) 退会
- (2) 死亡または法人の解散
- (3) クラブを閉鎖したとき

第13条【会員資格の譲渡禁止等】

クラブの会員資格は、本人限りとし、第三者への譲渡、売買、名義変更、質権の設定その他の担保に供するなどの行為もしくは相続その他の包括継承はできません。

第14条【営業日および営業時間】

クラブの営業日、営業時間およびスタッフ受付時間については定めのとおりです。ただし、気象災害等の理由により、事前告知なく変更する場合があります。

第15条【クラブ施設の利用制限】

1. クラブは次の理由により施設の全部または一部の利用を制限することがあります。そのような制限がなされる場合でも、会員の会費等の支払義務が縮減または停止されることはなく、クラブは会員に対し、特別の補償は行いません。
 - (1) 気象・災害等により会員にその災害が及ぶとクラブが判断し、営業が困難と認めるとき。
 - (2) 施設、設備の点検、補修または改修をするとき
 - (3) 法令の制定、改廃、行政指導、社会経済情勢の著しい変化、その他やむを得ない事由が発生したとき
 - (4) その他クラブが休業を必要と認めるとき
2. 前項の場合、事前にその旨をクラブまたはクラブのホームページ等にて告示します。ただし、気象災害等によって緊急を要する場合はこの限りではありません。

第16条【クラブ施設の閉鎖・変更】

1. クラブは、次の理由により施設の全部または一部を閉鎖、もしくは変更することがあります。
 - (1) 気象・災害等により会員にその災害が及ぶとクラブが判断し、営業を不可能と認めるとき。
 - (2) 法令の制度、開発、行政指導、社会経済情勢の著しい変化、その他クラブの経営上等やむを得ない事由が発生したとき。
 - (3) クラブにおいて経営上等やむを得ない事由が発生した場合にあって、3か月前に予告のうえ解散したとき。但し、解散の原因が天災、地変、公権力の命令、強制その他の不可抗力である場合には、上記の予告期間を合理的に短縮することができるものとします。
2. クラブ施設の閉鎖・変更の場合、会員の会費等の支払義務が縮減または停止されることなく、クラブは会員に対し、特別の補償は行いません。

第17条【賠償責任】

1. クラブ内で発生した紛失、盗難、傷害その他の事故については、クラブは、その故意または重過失による場合を除き、一切の責任を負いません。
2. 会員またはビジターは、自己の責に帰すべき原因により、クラブまたは第三者に損害を与えた場合は、速やかにその賠償責任を果たさなければなりません。

第18条【通知予告】

本規約およびクラブの諸事情に関する通知または予告は、加盟店所定の場所に掲示する方法または電子メール等により行います。

第19条【本規約その他の諸規約の改定】

適用法令に従い、クラブは本規約、細則、利用規定、その他クラブの運営、管理に関する事項を改定することができます。クラブは、クラブの運営、管理に関する事項を改定することができます。また、その効力は最新の改定日をもって全ての会員に適用されます。

【適用法および専属的合意管轄裁判所】

この会員規約に関する準拠法は、日本法とします。会員と当クラブの間で訴訟の必要が生じた場合、埼玉地方裁判所を当該訴訟の第一審専属的合意管轄裁判所とします。